

第2学年 特別活動学習指導案

日時 平成18年10月27日(金)3校時
生徒 雫石町立雫石中学校2年2組
男子17名 女子17名 計34名
場所 2年2組 教室
授業者 教諭 松本 健吾

1 題材「ストレスへの対処」

2 題材について

生徒達は、友人や家族などとの人間関係、または進路選択などで、さまざまなストレスを抱えている生徒が多い。しかし、適切に対処できないために、他人を傷つける言動をとったり、その場から逃げようとするものも見受けられる。中学校2年生になり、第二次反抗期にさしかかるこの時期に、ストレスに対する適切な対処の方法を学ぶことが必要であると考え。

3 生徒の実態

授業中、非常に活発に発言する雰囲気がある。けじめがないときもあるが、教師の発問に対しては必ず反応がある。授業以外の活動でも非常に活発である。しかし、何気ない発言や、ちょっとしたきっかけで人を傷つける発言をしたり、自分の失敗から起こしてしまった問題に対し適切に対処できず、投げ出してしまうたりする生徒もいる。今回は、普段の生活で起こりうるストレスの原因となるものに対する適切な対処方法を身につけさせたい。

生徒は、発問を契機とした議論から内容を理解することに優れている。しかし、発言が少ない生徒に対しては教師側から積極的にアプローチする必要がある、学習内容をまとめる作業ではスムーズに進むよう、指導事項を吟味して授業に臨む必要がある。

4 指導計画

- (1) 事前調査(アンケート実施)・・・1時間
- (2) ストレスへの対処法・・・・・・・・・・1時間(本時)
- (3) 事後指導・・・・・・・・・・1時間

5 本時について

(1) 本時の目標

・適切なストレス対処法を見つける。

(2) 授業の構想

ストレスの対処法については、単なるストレス解消法ではなく、ストレスを感じる状況を悪化させないために、ストレスと向き合う対処スキルをメインに考えたい。

対処スキルを取得する方法として、台詞書きを中心としたロールプレイを用いる。そのことで発表することの負担を軽くした。(全体発表は挙手が指名で、台詞発表は班単位程度)

喫煙飲酒薬物乱用防止に結びつける内容を盛り込む。

(3) 展開 別紙

6 展開

	学習内容	学習内容・活動	指導・支援活動
(15分)	1 ストレスについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に状況を設定し、ストレスを感じる状況を想起する。 場面「テストの成績が悪い。」と母親に叱られた。 Q どのように感じたか？ ・ストレスについての説明を聞く。 「Q1 あなたはとっさにどう答えますか？」 「Q2 それに対して母親はどうこたえるでしょう？」 ・自分の受け答えがストレスを悪化させる事に気づく。 ・プリント配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなストレスを受けると心身ともにマイナスの影響を受ける。 ・適度なストレスはむしろ心身の発達の上でも必要なものであることをおさえる。 ・受動的、攻撃的受け答えの例を挙げこういったコミュニケーションによりストレスを受ける状況が悪化することに気づく。
	2 学習課題	ストレスの適切な対処の仕方を知ろう。	
(30分)	3 ストレスへの適切な対処の仕方	ロールプレイ 「テストの成績が悪い。」と母親に叱られる。 「Q3 お母さんは、どうしてこんな事を言ったのでしょうか。」 「Q4 どのように受け答えをすればよかったですか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ いったん自分なりに考えてから、ストレスを受ける状況を悪化させないための受け答えのポイントの説明を聞く。 「Q5 (冷静に考えると) どう答えれば、ストレスを受ける状況を悪化させないですむでしょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントに台詞を書き込む。(個別) ・班で母親、子供の役割分担をしてロールプレイをする。(班活動) ・最もストレスを受ける」状況を悪化させない受け答えを班で相談して作る。 ・プリントに記入する。(個別) ・短冊に書く。・班の代表が発表する。 ・短冊を黒板に貼る。 ・よいと思うものをいくつか決め、全員一斉にその台詞を読み、疑似体験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母親がどんな気持ちで言っているのか感じ取れるようにする。 ・相手の気持ちを感じ取り、自分の考えをしっかりと伝えることが大事なことを知る。 ・ロールプレイは班内で行う。手順や注意事項はしっかりと聞かせる。 ・アサーティブコミュニケーションが自分のストレスも相手のストレスも和らげることに気づく。
		(ア) 直接ストレスになる状況を解決できなかったらどうするか。 <ul style="list-style-type: none"> ・適切なものと不適切なものに分けて学習シートに記入。 ・挙手、指名発表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対処法の良い悪いは、自分や他人を大切にするという視点で考えさせる。 ・タバコや飲酒、物を壊すなどのストレス解消法は適切でないことをおさえさせる。
終末 (5分)	4 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスがたまらない会話のポイントと今後の生活に生かせることを書く。(プリント個別) ・発表。 	

7 評価について

- ・ ストレスを受ける状況を悪化させない、つらい受け答えを知ることができたか。
(学習プリント、班別ロールプレイ)
- ・ ストレスを和らげる適切な方法を知ることができたか。(学習プリント)

8 参考文献等

- ・ 「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料 中学校編」文部科学省
- ・ 「ライフスキルを育む喫煙防止教育NICE」 JKYB研究会編著 東山書房
- ・ 「ライフスキルワークブック事典心と体の探検隊」TOSS ライフスキル学習研究会 明治図書
- ・ 中学校指導要領(平成10年12月)解説 特別活動編 文部省